

第9回日本生殖医療心理カウンセリング学会

2012.02.19 福岡

演題

「不妊治療施設における心理カウンセリングが果たす、女性のメンタルヘルスのプライマリケア的役割について」

発表者

橋本 知子、森本 義晴

IVF なんばクリニック

[発表要旨]

発表者は昨年まで精神科医療の領域で臨床活動を行っており、生殖心理カウンセリングに関しては経験が浅いが、これまでの経験を通じての精神科的な視線から生殖心理カウンセリングの意義を考察した。

当院で個人面接を行った約60名の患者について、既往歴と主訴という視点から①治療に密接に関係するこの領域特有の悩み苦しみが中心であるケース ②治療以前から心身の症状や悩みを有しているがメンタル面での治療や相談歴のないケース ③精神科既往歴のあるケースに分類し、検討を行った。

現代の日本においてもまだ精神科領域の受診やカウンセリング施設の自発的な利用には抵抗があり、なかなか受診や相談に至らないことは想像にたやすい。心理カウンセリングが不妊治療施設の中にあることで利用しやすくなり早期の援助が可能となるなど、通院されている女性のメンタルヘルス全般におけるプライマリケアの役割を担っていると考えられる。